



慶應義塾大学 2023年度新入生歓迎行事

上杉満代舞踏公演 命

……「われわれは生きているときに、何をいったい食べたらいいか。命を削って、命を食べるんですよ。しかし大変だ。命を食べるなんていうのはね」 大野一雄『稽古の言葉』より。
5月24日 ときは困惑のど真ん中。日吉キャンパス来住舎。ガラスの子宮にて復活の場を再び頂戴した。この奇跡に感謝と共にO氏の言葉を肝に命じ我々は結集する。

踏むこと。打つこと。舞うこと。奏でること。

ご飯ですよ！

2023年 上杉満代

[出演]

舞踏 —— 上杉 満代

音楽 —— 曾我 傑
多田 正美



2023年5月24日|水| 18:00開演 (17:00開場)

入場無料

慶應義塾大学日吉キャンパス来住舎イベントテラス

横浜市港北区日吉4-1-1

東急東横線・東急目黒線・東急新横浜線

横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅下車

May 24th Wednesday, 2023

18:00 start (Doors open 17:00)

Admission Free

Keio University Hiyoshi Campus, Raiosha

Hiyoshi 4-1-1, Kohoku-ku, Yokohama; Tokyu Toyoko Line Hiyoshi station

MITSUYO UESUGI BUTOH PERFORMANCE

命

慶應義塾大学 2023年度新入生歓迎行事

上杉満代 舞踏公演 命

上杉 満代 UESUGI Mitsuyo

1950年福岡に生まれる。幼少よりクラシックバレエを学ぶ。68年谷桃子バレエ団に在籍後71年より舞踏家大野一雄氏に師事。映画「O氏の死者の書」に参加。75年上杉満代舞踏ソロ「紅蓮夜曲」にてデビュー。その後、現在に至るまで極私的舞踏ソロの公演を主流として活動を続ける。1987年～1990年渡仏。カトリヌ・デュベレス、ベルナルド・モンテのスタジオD.Mに参加。パリ国立市民劇場などにて3作品に出演。帰国後はソロ作品「彼女」から「マダムメランコリア」「マドモアゼルメランコリア」「ベイビーメランコリア」などメランコリアシリーズ作品発表。大野一雄フェスティバル他欧州、米国等に招聘多数。2009年連続舞踏公演「ベイビーメランコリア夢六夜」にて第41回舞踊批評家協会賞を受賞。

曽我 傑 SOGA Masaru

15歳頃まで音楽の基礎を祖父と父から学ぶ。1970年代前半、東京アメリカンセンターにてテリー・ライリー、ニューヨークにてジョン・ケージに「現代の作曲と可能性について」を、北村実（早稲田大学文学部哲学科）の私塾にて「唯物弁証法、科学的社会主義論、マルクス・エンゲルス全著作比較試論」などを学ぶ。73年頃より佐野清彦、多田正美らと「GAP」の活動を開始。70年代後半より劇場公演に活動をフォーカスし、ニューヨークのラ・ママ劇場、ロンドンのICAスペース等での音響、照明を中心に劇場技術を手掛ける。

多田 正美 TADA Masami

ピアノを13歳頃に独学で始める。自由に作曲をしたら、自分の生まれた頃のポーランドで生じた学派だったと後に知る。1974年からのGAP即興活動。75年小杉武久音楽教場に通う。78年には1本の樹を毎日同じ場所から撮影、1年間で365枚撮る。80年代前半ピアノ製作に取り組む生活を送り、三遠州地帯の古き祭りを巡る。86年から双ギャラリーにて、コラボ作品とSound Encounter即興を始める。99年文化庁芸術家派遣で1年間オランダに滞在。その後、ネパールの古き観音山車祭りに通い、2006年カトマンズ及びパタンにて「Art Full Nepal」に参加。

舞踏：上杉 満代

音楽：曽我 傑・多田 正美 音響・照明：曽我 傑

主 催：慶應義塾大学教養研究センター日吉行事企画委員会（HAPP）

慶應義塾大学アート・センター

協 力：慶應義塾高等学校

コーディネーター：小菅 隼人

問合せ：慶應義塾大学アート・センター

108-8345 東京都港区三田2-15-45 Tel 03-5427-1621

Contact: Keio University Art Center

Tel 03-5427-1621

email ishimoto@art-c.keio.ac.jp



<http://art-c.keio.ac.jp/>



写真 小野塚 誠

MITSUYO UESUGI BUTOH PERFORMANCE